

平成28年度

# 根室の研究活動

研修部長 根室市立成央小学校  
校長 上原哲朗

## 1. はじめに

根室管内小中学校校長会は、平成26年度からスタートした3か年の研究計画をもとに、分科会討議を中心とした研研究大会を実施してきた。本年度は残念ながら荒天により研究大会は中止となってしまったが、研究主題等に基づく一人一レポートを作成し、冊子にまとめ会員及び関係者に配布した。

各校長が実践レポートを作成し、それを活用・交流することで互いに研修を深めることができた。



## 2. 研究計画

### (1) 3か年継続研究の取組

#### ① 研究主題

「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ学校教育の創造」

#### ② 研究主題設定の理由

近年我が国では国際化や高度情報化の進展、科学技術の急速な進歩、少子高齢化の進行などに代表される急速な変化が続いている。

教育基本法が改正され、学習指導要領のもと教育活動が展開する中、各学校においては子ども一人一人に个性的で人間として調和のとれた成長を目指し、地域や学校の実態及び子どもたちの心身の発達段階や特性等を考慮した教育活動を展開することを通して「生きる力」をはぐくむことが強く求められている。そのためには義務教育9か年を見通した学びの連続性を十分に考慮すること、そして、「基礎的・基本的な知識や技能の習得」「活用するための思考力・判断力・表現力の育成」「学習意欲の向上や学習習慣の確立」など、「確かな学力の育成」に努めることが大切である。また、体験活動等を通して児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成や人間としてのより良い生き方や社会性を高める「豊かな心の育成」、さらにはこれらの土台となる食生活への関心や体力の向上に関する指導、心身の健康の増進や生活リズムの確立に関する「健やかな体の育成」が不可欠である。

我々校長は学校経営の責任者としての使命に立ち、確固たる教育理念の下、リーダーシップを強く発揮し、特色ある学校づくりを推進するとともに、教職員の意識改革を図りつつ資質の向上に努める責務がある。また、常に課題意識をもち、着実に研究実践を積み重ね、成果を交流し合い、自らの職能向上に努めつつ、「信頼される学校教育」の創造に努めなければならない。

根室管内小中学校校長会は国内外の社会情勢はもとより、北海道教育ビジョンの基本理念や根室管内教育推進の重点も踏まえ、教育改革の推進と学習指導要領に基づいた学校教育の充実を図るため、これまでの本研究会の成果を生かし、3か年継続研究の基本

主題を「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ学校教育の創造」とし、さらに四つの分科会の研究主題とそれぞれの具体的な視点を設定する。

## (2) 全道、全国研究大会への参加

- ① 道小研究大会小樽大会(平成28年9月9日～10日)
- ② 道中研究大会上川旭川大会(平成28年9月30日～10月1日)
- ③ 全連小研究大会高知大会(平成28年10月27日～28日)
- ④ 全日中研究大会宮城大会(平成28年10月20日～21日)

## (3) 道小研究大会小樽大会提言に向けてのプロジェクト

### 3. 研究の概要

#### (1) 平成28年度根室管内小中学校校長会研究内容

- ① 第一分科会研究主題「人間力を豊かにはぐくむ特色ある教育課程の編成・実施」  
「確かな学力をはぐくむ教育課程の編成・実施」  
ア 運動会(体育祭)・学芸会(学校祭)の準備時数の工夫  
イ 自尊感情を高める教育活動の充実
- ② 第二分科会研究主題「教職員の資質向上と学校力を高める学校経営」  
「ライフステージに合わせた現職教育」  
ア 教職員の成長を促す教職員評価の活用  
イ 初任者研修の充実
- ③ 第三分科会研究主題「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育」  
「危機管理に強い組織づくり」  
ア 問題行動の発生に対する組織的な対応  
イ 生徒指導の実践的
- ④ 第四分科会研究主題「家庭や地域との連携・協力の推進と学校教育」  
「学校の教育活動と学校外の教育活動の連携」  
ア 部活動や少年団活動との連携  
イ 社会教育との連携

#### (2) 道小研究大会小樽大会第7分科会「現職教育」に向けてのプロジェクト

- ① 研究発表「ミドルリーダーを中心とした協働体制の活性化と管理職人材の意図的・計画的育成」
- ② 研究の視点  
ア 教職員としての資質や能力を高め、指導力の向上と意識改革を促す研修の充実と校長の関わり  
イ 確かな展望と変化の時代に対応でき、次代の学校を担うミドルリーダーや管理職の育成と校長の関わり

### 4. おわりに

本年度は残念ながら荒天により、根室管内小中学校校長研究大会は実施することができなかった。しかし、一人一レポートを作成し、それを各校長が活用したり、各市町校長会等で交流したりすることで3か年研究の3年目としての成果と課題を共有することができたと考える。

また、道小研究大会小樽大会第7分科会「現職教育」における研究発表では、「校長の果たすべき役割とリーダーシップ」「校長会の組織的な取組」「教育関係機関と連携したプロジェクトや各指定事業の実施状況」等について、根室管内の実践にもとづく発表を行うことができた。

今後も、新たな研究テーマを設定し、組織的に研究に取り組みたい。